



2010年9月29日

～神奈川県内で全国3ヶ所目となる“環境循環型農業”を展開～ 農業会社『セブンファーム三浦』設立のお知らせ

株式会社イトーヨーカ堂（東京都千代田区、代表取締役社長 COO：亀井 淳、以下「当社」）は、2010年10月1日（金）農業事業会社『セブンファーム三浦』を神奈川県横須賀市に設立し、食品リサイクルを主軸とした“環境循環型農業”を、千葉県、茨城県に次いで全国3ヶ所目となる神奈川県内で展開してまいります。

『セブンファーム三浦』は、当社の農業事業における中核会社「株式会社セブンファーム」（当社100%出資）と、「横浜市場センター株式会社」（横浜市金沢区、代表取締役：阿久津 好秀）、「長井有機農法研究会」（横須賀市長井、代表：原田 明）の3者による共同出資で設立する事業会社です。

農業従事者の高齢化や耕作放棄地の増加等、日本の農業を取り巻く環境は大きな転換期を迎えております。『セブンファーム三浦』は“日本の農業をお手伝いしたい”という基本理念のもと、神奈川県内のイトーヨーカドー店舗から回収した食品残さをリサイクル資源とする“環境循環型農業”を通じて、持続可能な地域農業への貢献を図ります。

< 環境循環型農業の仕組み >

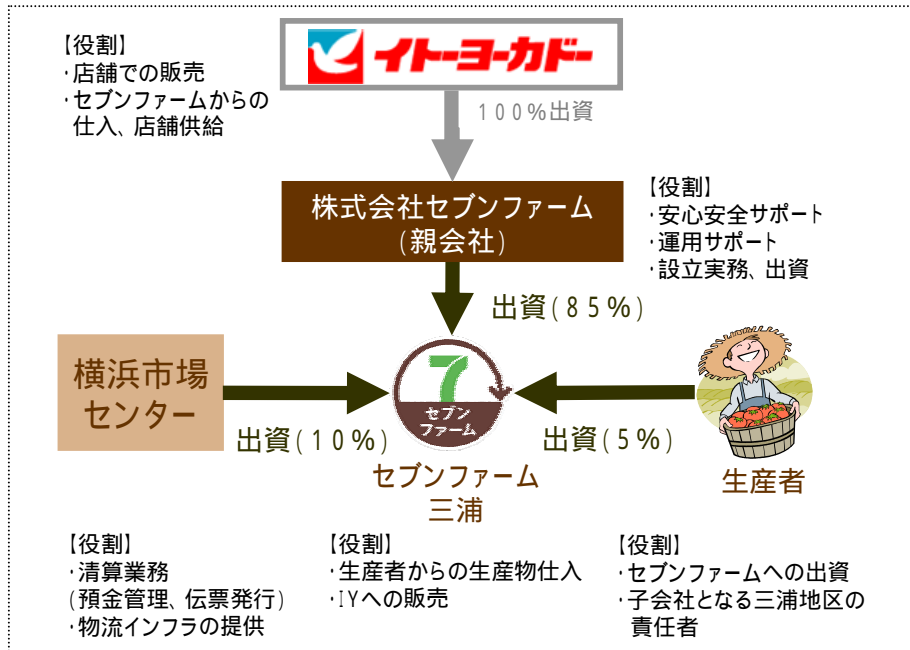


< 全国で3ヶ所目の農業事業 >

当社は2008年8月、企業の社会的責任(CSR)活動の一環として、食品リサイクルの向上と地域農業の活性化を目的に、セブン&アイグループ初の農業生産法人「セブンファーム富里」を設立し、“環境循環型農業”を大手小売業で初めて構築いたしました。その後、農場面積や栽培品目、収穫量等を拡大し、2009年度(1～12月)は事業の黒字化を達成したことで、2013年2月末までに全国10ヶ所への拡大を計画。本年9月に茨城県筑西市で「セブンファームつくば」を設立し、同県内でも農業事業を開始いたしました。今般の横須賀市での設立は、全国で3ヶ所目の取り組みとなります。

1. 「セブンファーム三浦」について

商号 : 株式会社セブンファーム三浦
 所在地 : 神奈川県横須賀市長井1丁目9番地29号
 設立日 : 2010年10月1日(金)
 代表者 : 代表取締役 恵本 芳尚
 (兼 株式会社イトーヨーカ堂青果部シニアマーチャンダイザー)
 出資構成 : 株式会社セブンファーム 85%
 横浜市場センター株式会社 10%
 長井有機農法研究会 5%



2. 横須賀市での取り組みについて

農場名称 : セブンファーム三浦
 農地面積 : 約5ヘクタール(約50,000㎡)
 生産者 : 長井有機農法研究会メンバー8名
 栽培品目 : 大根、キャベツ、ブロッコリー、カボチャ等の露地野菜を中心に8品目程度を予定
 収穫量 : 250ト(初年度計画)
 販売店舗 : 神奈川県内のイトーヨーカドー4店舗から発売し、順次、県内の全31店舗へ拡大予定

3. 堆肥化について

神奈川県内11店舗から食品残さを回収し、藤沢市内の堆肥化施設にてリサイクル

4. 生産スケジュール

2010年9月頃 ~ 大根、キャベツ等の作付け開始
 2010年11月頃 ~ 大根の収穫、販売開始
 2010年12月頃 ~ キャベツの収穫、販売開始

以上